
自治体の災害廃棄物処理体制強化 モデル事業

令和4年1月19日

中部地方環境事務所 資源循環課



令和3年度からのモデル事業について

方針

- 令和元年東日本台風等の災害対応を踏まえ、大規模災害発生時においても強靱な災害廃棄物処理体制の構築を図ることが必要
- 令和2年度までの「自治体の災害廃棄物処理計画策定」支援から、図上演習、災害廃棄物処理計画を通じた「災害廃棄物処理体制の強化」に支援フェーズを移行

1. 災害廃棄物処理計画強化モデル事業

令和元年東日本台風（長野県）の振り返りから、災害廃棄物処理計画に反映すべき実効的かつ具体的な対応策等を見出し、モデル事業の各WG等に反映

2. 図上演習モデル事業

県内自治体職員向け訓練や災害廃棄物処理計画の効果検証等を通して、自治体の災害廃棄物処理に係る対応力の向上を図る。

令和元年東日本台風における 初動対応の検証（長野県）

令和2年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理計画策定モデル事業 (令和元年東日本台風における初動対応の検証(長野県))

概要

- ・ 令和元年東日本台風による大規模水害における、長野県の被災自治体で実施した**初動対応について振り返り**
- ・ 被災自治体のうち、災害廃棄物処理計画を策定済みであった自治体については、**処理計画に沿った対応ができたかという観点での検証**
- ・ 得られた知見等については、他の自治体の災害廃棄物処理対応の参考となるよう取りまとめ ⇒ R2, R3モデル事業及び中部ブロック広域連携計画に反映

1. 対象自治体

- 長野県
- 長野県内自治体：長野市、千曲市、佐久市、上田市、須坂市、飯山市、佐久穂町

2. 実施内容

- 対象自治体へのアンケート調査(右記参照)
 - 調査期間：令和2年9月3日～9月25日
 - 調査方法：調査票をメールにて送付、メールにて回答を受領
- 検討会の開催
 - 開催日時：令和2年11月16日
 - 開催方法：Web会議(Webex)
 - 会議内容：得られたアンケート調査結果から、災害廃棄物処理の課題とその対応について意見交換を実施

<事前アンケート項目> ※大項目のみ

- 令和元年台風第19号(令和元年東日本台風)の被害状況について
- 一般廃棄物処理体制について
- 災害廃棄物関連業務の体制について
- 災害廃棄物発生量について
- 仮置場について
- 災害廃棄物処理計画および災害廃棄物処理実行計画について
- 土砂混じりがれきや損壊家屋の撤去について
- 浸水被害により発生した廃棄物の留意点
- 農業被害について
- 令和元年台風第19号(令和元年東日本台風)における災害廃棄物処理業務の振り返り

富山県・石川県図上演習

令和3年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理体制強化モデル事業 (富山県・石川県)

概要

- ・富山県及び石川県の全自治体、関係組合等を対象とし、**災害廃棄物が発生した際に必要となる作業や手順等を検討するグループワーク**を開催
- ・各県で3回ずつグループワークを実施した後、**両県合同で県域を超える広域連携の検証をテーマとした図上演習**を開催
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、**合同図上演習以外はオンラインで開催**。合同図上演習も、**県をまたぐ移動をせずに、両県それぞれで会場を設け、オンラインで接続**することで実施
- ・グループワーク及び図上演習の結果を踏まえ、**発災時の初動対応に係るシナリオを整理し、自治体が主体となりグループワークを開催できるように、シナリオ集及び運営方法を取りまとめ**

1.対象

- 富山県：10市4町1村、4組合
- 石川県：11市8町、8組合、産業資源循環協会

2.モデル事業の取組方針

- 業務開始時に、対象団体に対しアンケート（右記参照）を実施し、関心がある事項を抽出しテーマを設定
- アンケート結果：「仮置場」の要望が最も多く、次いで「処理体制」「情報収集」「ごみ収集運搬」の要望も多く寄せられた。また、基本的・初歩的な事項からの説明を求める意見が最も多く寄せられた。

<事前アンケート項目>

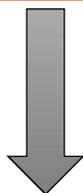
～興味がある、詳しく学びたい事項～

- 自治体内の組織体制、他自治体や民間企業との連携に関すること
- 被害情報の収集・処理方法の判断に関すること
- 災害時の一般ごみ・避難所ごみ収集運搬体制に関すること
- 災害時のし尿処理や仮設トイレに関すること
- 資機材・人員の確保に関すること
- 住民への広報に関すること
- 仮置場に関すること（選定方法、管理、運営など）

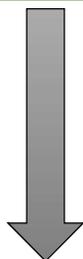
令和3年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理体制強化モデル事業 (富山県・石川県)

3.グループワークの実施内容

第1回 グループワーク
石川県：7/8、富山県：7/6



第2回 グループワーク
石川県：8/23、富山県：7/26



第3回 グループワーク
石川県：10/5、富山県：8/19



合同図上演習

◆ 災害廃棄物処理事業の流れ

- ・災害廃棄物処理全体の流れのイメージの把握

◆ 災害廃棄物処理に係る組織体制の構築

- ・災害廃棄物に係る業務を担当する部署を明確化
- ・災害時に収集すべき情報を明確化
- ・円滑に組織体制を構築、情報収集を行うために平時から備えておくべきことの整理

◆ ごみ・し尿収集運搬体制の構築

- ・発災時、生活系ごみやし尿の収集運搬や処理が滞る要因とそれに対する平時の備えを整理

◆ 仮置場の選定、管理・運営

- ・仮置場候補地を選定する条件や事前確認が必要なことを整理
- ・仮置場の管理・運営に必要な業務を明確化

◆ 仮置場の設置

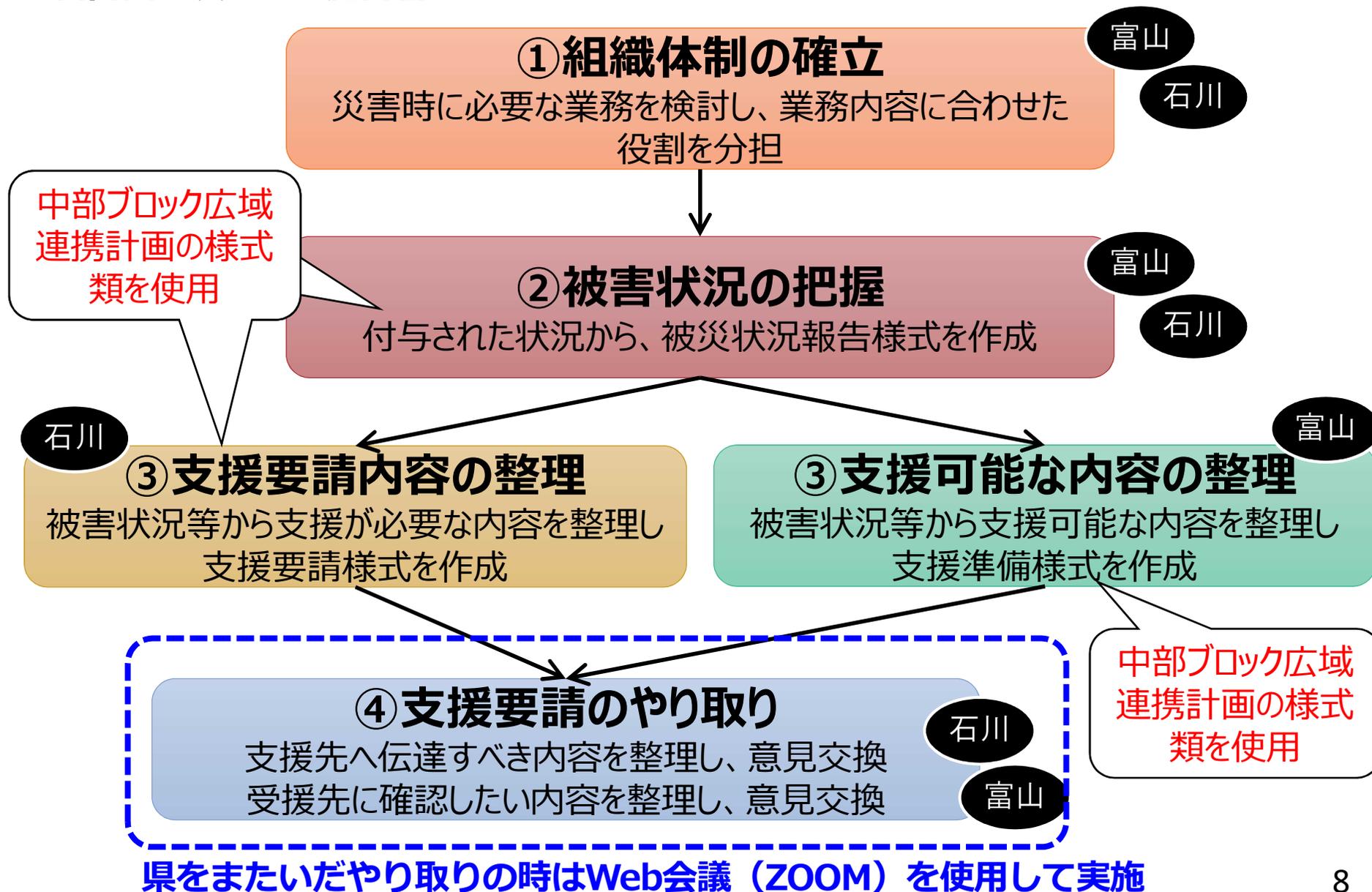
- ・簡易な仮置場レイアウトの検討
(レイアウトを検討する上で留意することを意識)

◆ 他自治体、民間事業者等への支援要請

- ・発災時、支援要請が必要となる具体的な内容を整理
- ・支援依頼先へ伝達すべき内容の整理

令和3年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理体制強化モデル事業 (富山県・石川県)

4. 合同図上演習の実施内容



三重県図上演習

令和3年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理体制強化モデル事業 (三重県)

概要

- ・ 災害発生時の**対応力、判断力の向上**を目指し、自治体等における**災害廃棄物処理体制の実効性を高める**ために有用な知見を見出すことを目的として災害廃棄物処理に係る**図上演習を実施**
- ・ **新型コロナウイルス感染症対策を前提とした演習方法を見出すため、Web会議方式にて図上演習を実施**
- ・ **発災後の初動から一次仮置場の設置、管理・運営までについて、対応型図上演習を実施**

1.対象 (事務局を含めて、約50人が参加)

- 三重県内市町：9市、4町
- 一部事務組合：1団体
- 廃棄物関係団体：6団体
- 三重県地域防災総合事務所、地域活性化局
- 有識者：名古屋大学 平山准教授

2.開催日時

- 令和3年12月10日 (金) 10:00～16:45

3.開催方法

- Web会議方式 (ZOOMを使用)

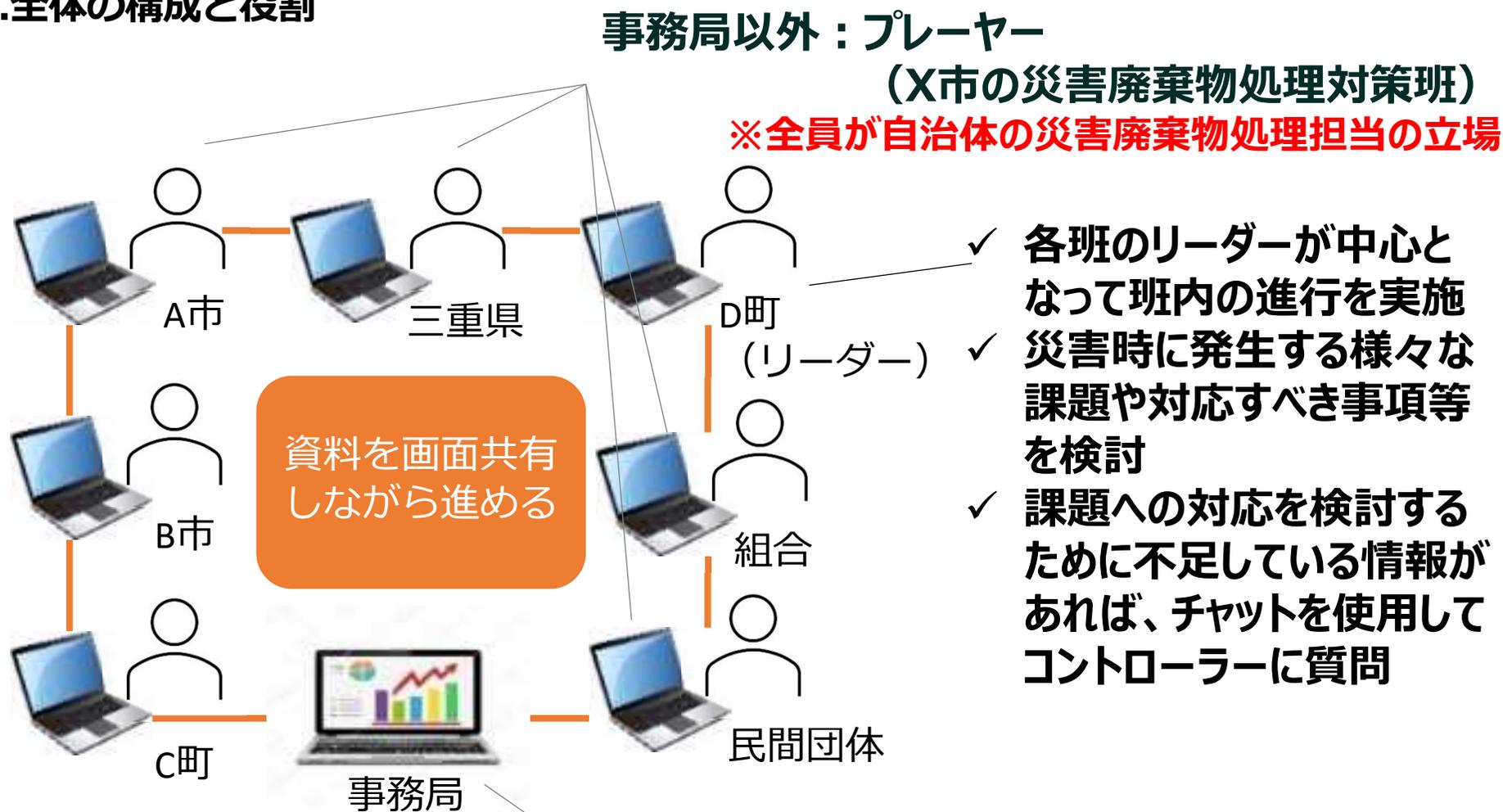
4.当日のプログラム

- 右図の通り
- 右図の ■ はブレイクアウトセッションを使った班別作業
- 右図の ■ は情報共有の時間

目安時間	内容
10:00～10:05 (5分)	1. 開会 (三重県、中部地方環境事務所)
10:05～10:20 (15分)	2. 図上演習の実施方法等説明 (事務局)
10:20～10:30 (10分)	3. 自己紹介
10:30～11:40 (70分)	4. 図上演習 [前半] 班内のまとめ約10分を含む
11:40～12:00 (20分)	5. 図上演習実施結果 [前半] の発表
12:00～13:00 (60分)	休憩
13:00～14:40 (100分)	6. 図上演習 [後半] 班内のまとめ約10分を含む
14:40～15:00 (20分)	7. 図上演習実施結果 [後半] の発表
15:00～15:15 (15分)	休憩
15:15～15:40 (25分)	8. 意見交換
15:40～15:55 (15分)	9. 意見交換結果の発表
15:55～16:25 (30分)	10. 図上演習の解説 (事務局)
16:25～16:40 (15分)	11. 講評 (有識者)
16:40～16:45 (5分)	12. 閉会

令和3年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理体制強化モデル事業 (三重県)

5.全体の構成と役割



事務局：コントローラー、記録
(X市災害対策本部、X市関係部局、収集運搬委託業者、民間事業者、X市の住民、県)

(参考) その他連携に係る検討会

令和3年度関係機関等との意見交換会

人材バンク登録者・環境省の意見交換会

【中部地方環境事務所と中部ブロック管内人材バンク登録者の顔の見える関係構築】

- 被災自治体のニーズを踏まえ、適材適所の人材派遣を行い、その支援を効果的なものとするためには、環境省が人材バンク登録者の特徴等を熟知しておくことが必要

【意見交換会の議題】

- ◆ 第1回：令和3年7月20日：災害廃棄物処理支援員制度（人材バンク制度）の概要、自己紹介
- ◆ 第2回：令和4年2月（予定）：広域連携計画と人材バンク制度の関係、派遣の事例紹介

自衛隊・環境省・自治体との意見交換会

【中部地方環境事務所と自衛隊・県（環境部局・防災部局）の顔の見える関係構築】

- 環境省・自衛隊・自治体が、迅速かつ効果的な支援を実施するためには、平時から意見交換や情報共有、演習等を通じた連携手順等の確認による顔の見える関係構築と連携強化が必要

【意見交換会の議題】

- ◆ 第1回：令和3年7月15日 令和元年東日本台風及び令和2年7月豪雨の振り返り
- ◆ 第2回：令和3年11月12日 自衛隊との連携に係る図上演習シナリオ方針（素案）について
- ◆ 第3回：令和4年2月（予定） 自衛隊との連携に係る図上演習シナリオ案について